



子育てを
考える
シリーズ 54

「地域共生社会の実現に向けて」

～人は分かり合えない?～



高知市健康福祉部 地域共生社会推進課
課長補佐 山下 隆文

はじめに

「地域共生社会」という言葉をご存知でしょうか？

シンプルに言うと、「みんなで支え合おう」という理念で、人と人との関係が希薄化していると言われる現代社会ですが、それでもやっぱり「つながり」を大切にして、人口減少・少子高齢化が進む厳しい中でも、共に「地域」を守っていこうという考え方です。

この「地域共生社会」は、平成28年に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」において、「全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる『地域共生社会』を実現する。」とされて以来、日本全体で実現に向けた取組が進んでいます。

また、高知市としても、「誰もがいきいきと暮らせる支え合いのあるまち」を理念に、「みんなでみんなを支える地域」を目指し、啓発や発信、各種事業に取り組んでいますし、もっともっとういった考え方を広めていかなければならないと考えています。

ただ、こういった考え方は、「自己責任論」と対立することがあります。

「頑張っている人は支えたい。でも頑張っていない人は…」という話を聞くことも少なくありません。

このように、市民の皆様がどう思うかは、一人ひとりそれぞれ違うのが現実で、「みんなで支え合おう」と聞くと、「賛成！」となる人が多いと思いますが、それぞれの目の前の個別の話になると「それはちょっと違う」という場合もあるのが実情です。

人は分かり合えない？

ところで、皆様は、子供に「生きていくうえで何が一番大切なの？」と聞かれたらどう答えますか？

「夢を持つこと」「ありのままの自分を大切にすること」「勉強すること」「親孝行すること」「友達と仲良くすること」「人に優しくすること」「努力すること」…

人それぞれ色々あると思います。また、「一つだけは選べない。大切なことはたくさんある」と答える人もいます。

これも先ほどの「地域共生社会」の話と同じで、「人それぞれ」です。

「子供に幸せになってほしい」という願いはみんな同じですが、そのために「何を大切にしてほしいのか？」は人それぞれ違います。

私は、「共生」とは、まずこういった人それぞれの「違い」を認め合うことから始まると考えています。

よく、「話し合って分かり合おう」と言いますが、「分かり合えない」こともありますし、「分かり合う必要がない場合」もあるのではないのでしょうか。